

豊田市避難行動要支援者名簿システム要求仕様機能表

項番	機能項目	機能概要詳細
1. 要支援者台帳管理機能		
1	要支援者基本台帳	要支援者台帳の入力画面は、帳票形式(帳票イメージ)を基本とした画面構成とすること。
2		要支援者の氏名及び住所などの基本情報の変更、死亡転出などの異動情報の更新が可能であること。
3		要支援者の居住地と電子地図の住所がリンクして座標を自動取得し、地図上に固定標記できること。
4		台帳登録について、要支援者からの同意・不同意の区分設定ができ、印刷帳票等の出力条件（検索条件）として設定できること。 ・区分設定： ①同意 ②不同意 ③未回答
5		同意区分について ①同意確認書の返送があり、地域への情報提供に同意と回答した対象者 ②同意確認書の返送があり、地域への情報提供に不同意と回答した対象者 ③同意確認書の返送がない対象者
6		要支援対象者の分類区分は、独自の仕様で設定が可能であること。
7		要支援者の登録、変更情報等を履歴情報として管理ができ、過去の情報を日付単位で参照閲覧できること。また、履歴情報を参照して集計し、統計資料等として出力できること。
8		支援者（民生委員、区長、自主防災会、包括支援センター等）の担当区域を地図情報画面からエリア設定できること。また、要支援者の居住地と支援者エリア設定情報がリンクし、担当支援者（民生委員、区長、自主防災会、包括支援センター等）を自動判定・入力できること。
9		緊急時の連絡先の項目を手入力または住民基本情報から参照し入力できること。
10		要支援者ごとの避難支援者情報を、手入力または住民基本情報から参照し入力できること（最大4人まで入力）。
11		要支援者台帳を複数条件で検索できること。
12		住民基本台帳と連携し、年齢、介護認定度等により、要支援の要否を自動判定し、要支援者の新規対象者として自動で要支援者台帳に作成できること。
13		住民基本台帳と連携し、住民記録の異動履歴が確認できること。住民記録の異動日や異動事由で要支援者の抽出ができること。

14		要支援者の福祉情報として、介護情報、障害情報の管理ができること。また、本市で運用している介護オンラインや障害オンラインと連携を行うことにより、介護情報、障害情報が自動で入力されること。
15		異動情報等（異動日、内容等）を入力できること。
16		要支援者として喪失された日付と理由を管理できること。
17		要支援者ごとの避難場所情報を入力できること。また、避難場所は災害の種類に応じて複数入力（最大3か所）できること。
18		その他自由記述欄を設けること。
2. 地図情報管理機能		
19	基本操作関連機能	豊田市で運用する統合型GISデータまたはZ-map（ゼンリン社製）データと要援護者データとの重ね合わせが可能であること。
20		要援護者および支援者の住所（居住地）・地域・名前から地図の検索ができること。
21		地図表示の縮尺はマウススクロールで出来ること。また、画面移動はマウスドラッグでできること。
22		地図画面上に表示された要援護者を選択（クリック）して要援護者台帳が閲覧できること。
23		地図上に任意で範囲指定したエリア内の要援護者等の情報を絞り込みができ、表示ができること。
24	台帳情報及び各種マスタ情報とのリンク機能	人及び建物は登録されている住所と電子地図がリンクし地図上に自動表示できること。
25		支援者（民生委員、区長、自主防災会、地域包括支援センター等）を指定し、担当している要支援者のみを同時に表示・印刷できること。
26		地図上で支援者の担当範囲や、地域の区域範囲の表示ができること。
27		要支援者の居住地の位置情報から、対象範囲に含まれる支援者（民生委員、区長、自主防災会等）を判断し、自動設定ができること。
28		地図上で支援者（民生委員、区長、自主防災会、地域包括支援センター等）の担当区域を設定・修正できること。また、任意の担当区域を設定・修正した場合も、対象者の支援者（民生委員、区長、自主防災会、地域包括支援センター等）を自動で設定できること。
3. 出力帳票		
29	要支援者帳票	要支援者（同意者）の個別支援台帳が表示・印刷できること。（帳票①）
30		指定期間の新規同意者を抽出し、「同意確認書」を表示・印刷できること。（帳票②）
31		指定期間の新規同意者を抽出し、「同意決定書」を表示・印刷できること。（帳票③）
32		指定期間の新規同意者を抽出し、支援者（民生委員、区長、自主防災会、地域包括支援センター等）ごとに「新規同意者の追加について」を表示・印刷できること。（帳票④）
33		指定期間の新規同意者を抽出し、支援者（民生委員、区長、自主防災会、地域包括支援センター等）ごとに「同意者名簿変更通知」を表示・印刷できること。（帳票⑤）
34		指定期間の新規同意者を抽出し、「ひとり暮らし高齢者等登録廃止通知」を表示・印刷できること。（帳票⑥）
35		指定期間の新規同意者を抽出し、「豊田市ひとり暮らし高齢者等登録決定通知書（避難行動要支援者名簿登録決定通知書）」を表示・印刷できること。（帳票⑦）
36		指定期間の登録廃止者を抽出し、「避難行動要支援者名簿登録廃止通知（お知らせ）」を表示・印刷できること。（帳票⑧）

37		支援者（民生委員、区長、自主防災会、地域包括支援センター等）ごとに「避難行動要支援者名簿制度 同意者名簿」を表示・印刷できること（帳票⑨）
38		支援者（民生委員、地域包括支援センター等）ごとに「ひとり暮らし高齢者等登録者名簿」を表示・印刷できること。（帳票⑩）
39		統計「自治区別 避難行動要支援者数」が表示・印刷できること。（帳票⑪）
40		統計「民生委員別 避難行動要支援者数」が表示・印刷できること。（帳票⑫）
41	その他	各帳票は、すべてエクセル又はCSV形式で出力ができ、データ編集加工が行えること。
5. その他管理機能		
42	データ連携	定期的に住民基本情報から個人番号、氏名、性別、生年月日、住所、異動事由を取込み、要支援者台帳を更新することができること。※更新前のデータは履歴として残すこと。
43		定期夜間バッチや、画面からの手動操作にて介護保険情報、障がい者情報から要介護度や手帳情報を取り込み、要支援者台帳を更新することができること。
44		支援者地域、支援者連絡先、支援者区分を取り込み、支援者情報を更新することができること。また居住地から位置情報を更新できること。
45		住民基本情報から取り込んだ異動履歴が、確認できること。
46		住民基本情報から取り込んだ住所から、要援護者と支援者の居住地を登録することができること。また居住地からの位置情報を更新できること。
47		住民基本情報を取込むことにより、変更のあった対象者リスト（要支援者、支援者、緊急連絡先がわかるように）を出力できること。
48		住民基本情報を取込むことにより、新規対象者リストを出力できること。
49		連携データの取り込みは、CSV形式等での連携を行い、連携サーバ経由での自動データ連携や手動処理での連携取り込みのどちらでも処理可能であること。
50	セキュリティ管理機能	甲が指定するセキュリティソフトを導入すること。
51	セキュリティ管理機能	IDとパスワードを用いたログイン方式をとり、利用者IDごとに権限の設定ができること。また、その権限やパスワードの設定は、システム管理者によって容易に変更可能であること。
52	セキュリティ管理機能	ログイン履歴および操作履歴が確認可能であること。（利用者・日時・操作内容）
53		パスワードは複雑チェックを行い、有効期限を設定できること。
54		定期的に担当者ごとにパスワードの変更ができること。
55	汎用検索機能	管理している情報を、自由な条件で抽出や統計を行った結果をCSVで出力することができること。
56	統計機能	支援者（民生委員、区長、自主防災会、地域包括支援センター等）、同意区分、要支援対象分類区分等の指定条件をもとに、統計資料が表示・印刷できること。
57	バックアップ	システム及び全てのデータをバックアップし、有事の際にバックアップデータからの復旧が容易にできること。
58	操作説明	システム管理者に対して、システム操作方法の説明を行うこと。
59		操作・管理・運用に必要なマニュアルをデジタルデータ及び紙データとして提供すること。
60	その他	システムは市内LANを介してWEB型で運用できること（ライセンス数は4台）。ただし、次年度以降にWEB型運用に切り替えが可能なシステムであれば、今回導入するシステムについてはクライアントサーバ型でも可とする。